

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：湖水苑

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時： 30年 8月 8日 14時～15時

会場： 湖水苑レイクホール

参加者

利用者代表	0人	有識者	2人
利用者家族	0人	高齢者あんしん支援センター職員	1人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
その他〔事務長・介護支援専門員兼管理者、デイ管理者、デイ相談員〕			4人

1：利用状況

ご利用状況現在

男性1名、女性17名（空床0）平均介護度2.1 平均年齢 86.7才
湖陵町7名、佐田町3名、大津町1名、外園町1名、知井宮町1名
所原町1名、大社町1名、塩冶町2名、今市町1名

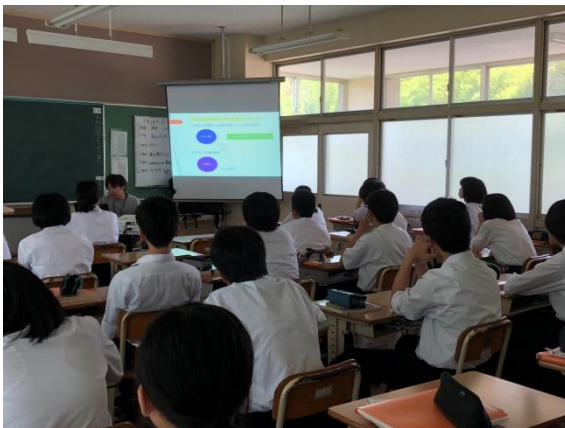
2：近況報告

認知症サポーター研修



7月11日出雲西高校にて認知症サポーター研修を行いました。今年で3回目とり、本年度は福祉コースの生徒さん33名が参加されました。

当施設からグループホーム管理者と西校出身の特養3年目の職員が出向き、認知症についての基礎的な知識や認知症の方に対する対応の仕方などについて説明をしました。生徒のみなさんは熱心に聴いてくださり、最後には先輩の職員に対して介護福祉士としての利用者に対する接し方についての質問もありました。今後の皆さんの生活において今日の研修が少しでも役に立つと幸いです



7月17日湖陵中学校にて『認知症サポーター研修』を行いました。

3年生を対象に家庭科の授業の1コマを使わせて頂き、研修をさせていただきました。中学校での研修は初めてで、不安もありましたが、皆さん静かに熱心に話を聴いて頂き、良い研修が出来たと思います。皆さんが研修終了後に配られたオレンジリングを身に着けて地域社会で活躍されるのを願っています。

夏祭り



8月4日、2年ぶりに湖水苑夏祭りが行われました。今回グループホームでは出店の内の1つである輪投げコーナーを主に担当しました。利用者さんに輪投げの的と一緒に作って頂き、とても良いものが出来ました。当日は多くの子供さんや利用者さんがたくさん来店して下さり、輪投げを楽しまれました。グループホームのご家族もたくさん来苑され、アトラクションや花火を利用者さんと一緒に楽しまれました。

現在の待機者 6名

事例紹介

相談者 50代夫婦

相談内容 夫の両親について

現在、自宅より約数百メートル離れた場所に80代の夫の両親が単独世帯で暮らしている。両親ともに認知症の症状があり（夫要介護1 妻要介護2）、小規模多機能サービスを利用しながら、夫婦2人での生活を続けている。両者とも身体機能の衰えや、認知症の進行が見られ自宅での生活に家族が限界を感じている。特に困っているのが、妻が近所の畑から、勝手に野菜を収穫し、強い苦情が出ている状態であること。相談者妻は自身も病気を抱えており、苦情の対応に心労が重なり満身創痍の状態です。夫の早期の入所を希望している。

3：今後の予定

・ 次回の運営推進会議は10月10日です。

*出席者より

・ 学生の実習の状況は？

⇒ デイサービスに高校生が数名あり。トリニティの学生は年々減っており、実習生を毎年迎えていたが、昨年度はグループホームも特養もゼロであった。ただ現在アルバイトでトリニティの学生が1名働きにきている。

・ 夏祭りは地域の住民も参加したのか？

⇒ コミュニティーセンター等で告知をしている。また地元の保育園にも案内を出し、数名の参加もあった。高校生のボランティア参加もあった。

・ 認知症サポーター研修について

継続して行って欲しい。依頼を待つだけでなく、施設が起点となり活動を広げて欲しい等の意見もあった。